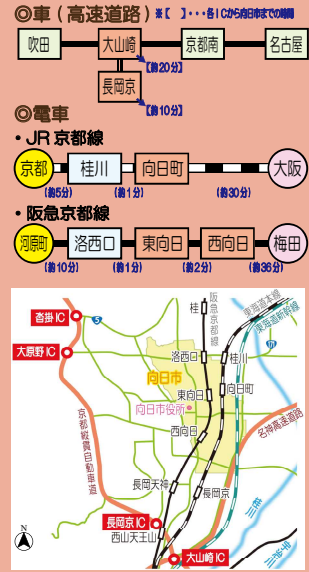


＝ アクセス ＝



＝ 発行 ＝

〒617-8665
向日市寺戸町中野20番地
向日市長公室 広報・ふるさと創生課
TEL 075-931-1111

＝ 行事 ＝

- 1月元旦 初詣【向日神社】
- 1月下旬 親子竹馬教室・たけうま全国大会【市内小学校】
- 2月3日 節分祭【向日神社】
- 2月最初の午の日 初午祭【向日神社】
- 4月上旬 桜まつり【向日神社】
- 5月1日 例大祭【向日神社】
- 5月3日 花まつり、鶏冠井題目踊【石塔寺】
- 5月の第2日曜日 氏子祭【向日神社】
- 7月31日 夏越の祓【向日神社】
- 10月の第2日曜日 御火焚祭【向日神社】
- 10月中旬 竹の径・かぐやのタベ【竹の径】
- 11月11日 大極殿祭【大極殿公園】
- 11月中旬の土・日曜日 向日市まつり【向日町競輪場】

鶏冠井題目踊
鶏冠井町の石塔寺で毎年5月3日の花まつりに奉納される踊りです。法華経の題目である「南無妙法蓮華経」が音頭の節々に唄えられるのが特徴で、特殊な芸能として府の無形民俗文化財に指定されています。

氏子祭（神幸祭・還幸祭）
向日神社の御神体が氏子の各地区を巡行する祭りで、向日神社でもっとも盛大な祭りです。5月の第2日曜が還幸祭、その3日前が神幸祭です。この間、御神体を運した神輿（鳳輦（ほうりん））は上植野の御旅所に安置されます。

夏越の祓
毎年7月31日に向日神社で行われています。茅（チガヤ）を束ねてつくった大きな輪をくぐって身を祓い清め、無病息災を祈願します。（茅の輪くぐり）

竹の径・かぐやのタベ
竹林の保全整備と観光振興を目的に始まったイベント。約4,500本の竹行灯で、夕陽の竹林を幻想的に彩ります。かぐや姫が登場し、琴などの演奏会もあります。

大極殿祭
史跡長岡宮跡の大極殿公園において、長岡宮の顕彰のために平成京から長岡京に遷都された11月11日に行われ、長岡宮の歴史遺産の保護等を誓う祝詞や舞いなどが奉納されます。

向日市の歴史的風致めぐり

- 1. 向日神社に係る歴史的風致
- 2. 史跡長岡宮跡に係る歴史的風致
- 3. 古代の街道に係る歴史的風致
- 4. 用水・ため池と条里制水田に係る歴史的風致
- 5. 竹林とタケノコ栽培に係る歴史的風致
- 6. 鉄道と住宅地開発に係る歴史的風致

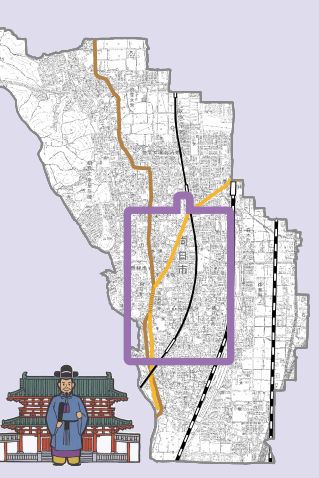


1. 向日神社に係る歴史的風致



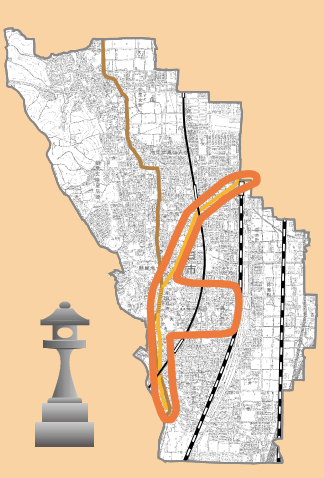
市の市名の起源でもあり、奈良時代創建の由緒と歴史を誇る向日神社では、現在でも神幸祭、還幸祭など各種祭礼が氏子組織により脈々と受け継がれています。また境内をとりまく鎮守の森は市街地の中にある貴重な自然であり、歴史ある建造物や人々の営みを見守りつつ、清々しい景観を形成し続けています。

2. 史跡長岡宮跡に係る歴史的風致



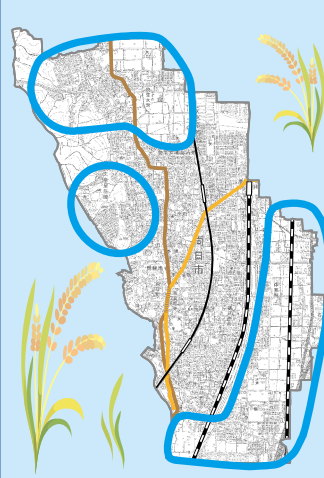
784年から10年間の都、長岡京の政治の中心であった史跡長岡宮跡の大極殿公園では、遺跡を顕彰する大極殿祭が地域住民によって明治時代から今日に至るまで続いています。昭和29年（1954）に始まる発掘調査も累計2,200回を超えて途切れなく行われており、日常の暮らしの中に古代を感じることが出来ます。

3. 古代の街道に係る歴史的風致



向日市域を北東から南西へ縦断する西国街道は、古くから人や物資の往来が活発でありました。歴史的建造物や石造物も多く存在し、昔ながらの風情が残る西国街道沿いでは、現在も鶏冠井題目踊や花まつりが営まれ、往時の雰囲気を感じ出しています。

4. 用水・ため池と条里制水田に係る歴史的風致



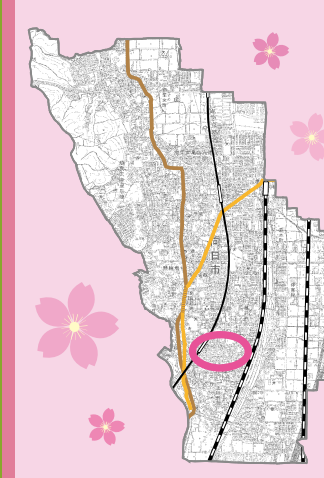
古代から本市の農業は水の確保の歴史とともに歩み続け、水路やため池を守りながら、高い生産性と品質を誇る都市近郊農業が営まれています。市街化が進むなか、古代・中世以来の条里の地割が残る場所も多く、今も小字名が昔のまま使用されたり、水神祭が執り行われるなど、昔ながらの営みが用水や水田の景観とともに守られています。

5. 竹林とタケノコ栽培に係る歴史的風致



向日丘陵の起伏に富んだ斜面を覆う緑の竹林は、明治時代中期から広く分布するようになり、清々しく管理されています。ワラの間にのぞく土のコントラストは、全国にその名を知られるおいしいタケノコづくりに取り組む農家の努力の結晶であり、背景の古墳と重なり、見事な風景となっています。

6. 鉄道と住宅地開発に係る歴史的風致



新しい鉄道の敷設に伴い昭和初期に造成され、桜並木が美しい西向日住宅地は、開発時から自治会誌の発行や街路樹の保全など、住民自らの手で良好な居住環境を大切に守る活動が絶えることなく受け継がれ、当初の区画を今も残り、四季を感じることでできる住宅地景観を形成しています。

■ 史跡等ご案内 ■

とら おつか こみ
①寺戸大塚古墳 A-2 古墳時代前期（4世紀前半）の全長約98mの前方後円墳。古墳の斜面には墓石とよばれるこぶし大の石が敷き詰められ、平面の部分には通輪が大量に並べられています。発掘調査により三角縁神獣鏡のほか多くの鏡が出土しています。

たけ みち
②竹の径 A-1 A-2 B-1 B-2 全国でも良質なタケノコの産地として知られている向日丘陵の竹林。「竹の径」は、この竹林に竹穂垣をはじめ古墳垣やかくや垣など、8種類の竹垣が整然と連なる全長1,800mの竹林道です。毎年、10月中旬に行われる「竹の径・かぐやのタベ」では、水ろうそくを浮かべて4,500本の竹行灯を使って「竹の径」を照らし、幻想的な雰囲気につつまれます。

いづから こみ
③五塚原古墳 B-2 古墳時代前期（4世紀）墳の全長約91mの前方後円墳。はりこ池山頂の西側にあり、前方部の形が三味線のバチに似ているので「バチ形」と呼ばれています。

かん むてんのこうこうりょう
④桓武天皇皇后陵 B-2 長岡京を築いた桓武天皇の皇后のお墓とされる、直径65m・高さ7mの円墳。宮内庁陵となっています。

むこうし ぶんか しりょうかん
⑤向日市文化資料館 B-2
常設展では、向日市内にある国の史跡長岡宮大極殿・朝堂院の復元模型や、遺跡からの出土品を展示して、都に生きた人々の暮らしを紹介しています。ホールにあるタッチパネル対応の大型ディスプレイでは、「バーチャル長岡京 3Dマップ」により長岡京を自由に体感していただくことができます。特別展・企画展やラウンジ展、各種の講演会等を開催しています。

入館料・・・無料
開館時間・・・10:00～18:00（入館は17:30まで）
休館日・・・月曜日・祝日の翌日・資料整理日
詳しくはお問い合わせください。
TEL 075-931-1182

もずめ けつか こみ
⑥物集女車塚古墳 B-2 古墳時代後期（6世紀中ごろ）の全長約46mの前方後円墳。淳和天皇の棺を運ぶ車をつめた塚との言い伝えから車塚と呼ばれています。出土遺物には、通輪・須恵器・土師器・馬具・刀剣類・装身具などがあります。毎年、5月末頃、石室内部が公開されます。

すだ けいろうたく
⑦須田家住宅 B-3 屋号を「松葉屋」といい、明治30年代まで醤油の製造販売を営んでいた旧家です。西国街道・愛宕道・丹波道の分岐点にあり、元和2年（1616）の町並み調査記録にも記載されており、昭和62年（1987）に府の文化財に指定されました。

せきとうじ
⑧石塔寺 C-3 鎌倉時代末期に日蓮の孫弟子にあたる日像上人が、向日神社前にある石塔婆のそばにお堂を立てたのがはじまりと伝えられています。京都府の無形民俗文化財に指定されている「鶏冠井題目踊」が毎年5月3日に奉納されます。

せっぽうし
⑨説法石 B-3 向日神社鳥居脇に安置され、京での日蓮宗の布教活動を禁止された日像上人が懸掛けて西国街道を行き交う人々に説法したと伝えられています。

とみなや
⑩富永屋 C-3 江戸時代初頭から戦後しばらくまで、代々宿屋・料理屋を営んでいました。江戸時代中期に建てられたことがわかる貴重な町屋の建物で、400年間、所在地を変えずに同じ家が継続して所有している町屋遺構としても、たいへん貴重な存在です。

むこうし じんじや
⑪向日神社 B-3 奈良時代の養老2年（718）、この地に鎮座したという由緒をもち、平安時代の「延喜式」（927年成立）の神名帳に「向日神社」と記載されている乙訓地域きつての古社です。室町時代の応永29年（1422）に上棟された本殿は三間社流造の代表例として国の重要文化財に指定されています。社蔵の「日本書紀」神代紀下巻の写本も国の重要文化財に指定されています。

むちのたりこみ
⑫元稻荷古墳 B-3 向日丘陵先端部の根尾上に築かれた前方後円墳で、乙訓地域では最も古い時期の古墳と考えられています。刀剣や槍、斧などの副葬品が残っていました。出土した特殊器形通輪や壺形土器の発見によって、それまで謎であった「通輪のルーツ」が明らかになったという重要な古墳です。向日神社北側の勝山公園内にあります。文化資料館で実物の天井石を見学できます。

さいごくかいどう なか こうし けいろうたく

⑬西国街道・中小路家住宅 B-3 B-4 C-2 C-3 C-4 D-2

西国街道
京都の東寺口を起点とし、摂津の西宮に通じる古くからの街道。豊田秀吉の朝鮮出兵に際して街道が拡張整備されました。このとき向日神社前一带が、京都から最初の休憩地点として整備されました。これが向日町で今日の向日市の市名のはじまりとなりました。西国街道と愛宕道の分岐点にある「道路元標」は向日町の基準点になっていました。

▲中小路家住宅
西国街道沿いにある江戸～明治時代の旧家。幕末の弘化5年（1848）、建て替えを願い出た古文書が残る主屋に上質なつくりの座敷を備える大型の民家で、平成20年（2008）に国の文化財に登録されました。

きたしんきやうじ
⑭北真経寺 C-3 日蓮宗の寺院。鎌倉時代末期に日像上人の布教により、真経寺として信仰の中心となりました。江戸時代には僧徒の学校である檀林が置かれました。本堂は当時の講堂にあたり、昭和58年（1983）に府の文化財に登録されました。

さくら みち
⑮桜の径 C-3 昭和初期に開発された閑静な住宅街にはソメイヨシノが街路樹として植樹され、現在は約270本の桜並木となっています。噴水公園を中心に整然と区画された景観を生かした散歩道として整備されています。

ながおきやうだいり ない かくつじ かい ろうと だいりこうえん
⑯長岡宮内裏内郭築地回廊跡（内裏公園） C-3 天皇の住まいである内裏を厳重に囲う内外に廊下のついた塙を内裏内郭築地回廊といい、その回廊の北西コーナー部分は、昭和48年（1973）に国の史跡に指定され公園となっています。

ながおきやうとう ぐう ほうあと かいで きこうえん
⑰長岡宮春宮坊跡（鶏冠井かしの木公園） C-3 長岡宮の春宮坊（皇太子の生活をする役所）があった場所です。漆塗りの容器や琥珀・ベア甲などの装飾品などとともに、「春宮坊」と書かれた木簡など、多くの遺物が検出されています。木簡の日付から、桓武天皇の長男安殿親王（後の平城天皇）に関係する役所であったことがわかりました。

ながおきやうだいりこうえん しやうあんあと だいごくえんこうえん

⑱長岡宮大極殿・小安殿跡（大極殿公園） C-3

「大極殿」は、天皇が政治を司る都の中でも最も重要な場所であり、「小安殿」は、大極殿の後ろの建物のことで、「後殿」とも呼ばれています。発掘調査により位置が確定された後、昭和39年（1964）に国の史跡に指定。現在では大極殿公園として整備され、毎年、11月11日には、長岡京遷都を記念して「大極殿祭」が厳かに執り行われています。

ながおきやうどういん にしだい よんどうあと ちやうどういんこうえん

⑲長岡宮朝堂院西第四堂跡（朝堂院公園） C-3

朝堂院は、長岡宮の中心にある国家の政務・儀式を行う場所であり、東西に4つずつ、計8つの堂がありました。南門には楼閣が2つあり、荘厳なつくりになっていました。ここは西側の4番目の堂にあたり、親王や大臣、役所の長官が座り、中庭で政務や儀式が行われたと考えられています。平成4、14、18年（1992、2002、2006）に国の史跡に指定され公園となっています。

ながおきやうつじ じあと

⑳長岡宮築地跡 C-3

長岡宮の役所を囲む塙の跡で、1200年以上前の都の中で地上に残された唯一の遺構として貴重。昭和56年（1981）に国の史跡に指定されました。

みんしんきやうじ

㉑南真経寺 C-3

日蓮宗の寺院。開山堂は寛永19年（1642）に建てられた境内の中心となる建物。本堂とともに昭和62年（1987）に京都府の文化財に指定されました。

もりもと いせき

㉒森本遺跡 C-3

縄文～古墳時代のムラの跡。昭和45年（1970）、第3向陽小学校建設の際の発掘調査で、縄文土器の破片や弥生時代の用水路跡、珍しい人面付壺型土器や石器、弥生土器が発見されました。乙訓地域を代表する弥生時代の拠点集落とみられています。

いちもんばし

㉓一文橋 C-4

西国街道が小畑川を渡る地点に架かる橋。通行人から一文ずつ徴収して、橋の架け替えの費用に充てたという伝承から、この名前がつけられました。

とういんこうえん

㉔東院公園 C-3

市民温水プール建設の発掘調査により、大規模な建物跡が発見され、当初、桓武天皇が平安京に遷都する前の2年間、仮の内裏として住まいした「東院」の候補地のひとつとして、復元整備されています。その後の発掘により、天皇や皇族が本来の住まいとは別に設けた宮殿の「離宮」ではないかと考えられています。

向日市歴史まちガイドマップ



Aコース 【約1時間】	Bコース 【約2時間】
飯急西向日駅 ↓ 5分	JR 向日町駅 ↓ 20分
大極殿公園 ↓ 5分	物集文事塚古墳 ↓ 20分
説法石 ↓ 5分	竹の径 ↓ 8分
向日神社・元稻荷古墳 ↓ 5分	寺戸大塚古墳 ↓ 10分
桜の園 ↓ 15分	桓武天皇皇后陵 ↓ 20分
向日市文化資料館 ↓ 8分	向日市文化資料館 ↓ 8分
須田家住宅・道路元標 ↓ 2分	須田家住宅・道路元標 ↓ 2分
富永屋 ↓ 5分	富永屋 ↓ 2分
南真経寺 ↓ 5分	説法石 ↓ 5分
朝堂院公園 ↓ 2分	向日神社・元稻荷古墳 ↓ 10分
飯急西向日駅	大極殿公園 ↓ 3分
朝堂院公園 ↓ 2分	朝堂院公園 ↓ 2分
飯急西向日駅	飯急西向日駅

↑ 25分 ↓ 15分

来迎寺・物集女城跡
↓ 20分

竹の怪
↓ 8分

寺戸大塚古墳
↓ 10分

恒武天皇皇后陵
↓ 20分

向日市文化資料館
↓ 8分

須田家住宅
↓ 4分

説法石
↓ 5分

向日神社・元稻荷古墳
↓ 7分

富永屋
↓ 12分

築山講常夜燈 4分 → 深田掘
↓ 1分 ↓ 4分

阪急寺向日駅 JR向日駅

一文橋
↓ 10分
上槇野御旅所
↓ 10分
桜の径・噴水公園
↓ 4分
築地跡
↓ 5分
内裏公園
北真経寺 → → 10分
↓ 5分
春宮坊跡
↓ 10分
森本道跡
↓ 10分
東院公園
市民体育館
↓ 20分
深田橋
↓ 4分
JR 向日町駅

※各コースの時間は季節変動であり見学・休憩時間等は必ずお持ちください。

